

特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより入居者がその有する能力に応じ、安心して安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

2 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

（1）入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	令和2年度中に入退所状況					利 用 延 人 員	年 間 平 均 稼 働 率	年 度 末 利 用 者 数	
		入所	退所	退所理由別						
				家庭 復帰	契約解除 (入院等)	死亡				
120人 (湯梨浜はごろも苑)	118人	2人	4人	0人	1人	3人	2,102人	97.31%	116人	
150人 (巖城はごろも苑)	125人	34人	41人	2人	22人	17人	43,879人	84.36%	118人	
元年度	150人	130人	43人	48人	0人	28人	20人	47,407人	86.35%	125人

（2）利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	0人	0人	10人	9人	5人	24人
女 性	0人	1人	22人	39人	30人	92人
計	0人	1人	32人	48人	35人	116人

(平均介護度4.01)

3 事業の実施状況

（1）ユニット型新施設への安心・安全な移行

ア 新施設の開設を令和3年3月13日に設定し150名定員から段階的に120名定員をめざし経営の効率化を図りながら10月から入所制限を実施した。また安全に引っ越しを進めるため、詳細な引っ越し計画を作成し無事引っ越しを行った。

イ ユニットケア研修については、苑内でのユニットケア研修や24時間シート(今まで生活してきたスタイルを継続するためのツール)作成のための研修を実施した。また、新施設での業務内容の検討や、リフトなどの福祉機器のスムーズな活用を進めるために手順書やビデオを作成した。

ウ 給食については、ニュークックチルの食材納入業者の指導の下に試行を重ねスムーズな提供に努めた。

（2）利用者の人権尊重

- ア 毎月、虐待の早期発見と未然防止のため虐待チェックシートの活用による振り返りと問題点の共有、改善に取り組んだ。また、今年度の虐待防止研修はDVD視聴による研修を実施し、支援を振り返るとともに利用者の尊厳(人権)について考える機会とした。
 - イ 支援の困難なケースについては、ケース検討会を実施するとともに認知症研修を受講した職員が講師となり研修を実施し、良質なサービスの提供に努めた。
- (3) 利用者の重度化に対応するサービスの向上
- ア ケア技術の向上だけではなく「ひもときシート(認知症の人の思いを探るためのアセスメントシート)」を活用しケース検討会を実施するとともに職種間が連携し暮らしやすい環境を整えるよう努めた。
 - イ 利用者の状況に応じ、個々にあった流動食(経腸栄養剤)などを医師に相談しながら提供し健康の維持に努めた。
また、感染予防については研修会を実施するとともに日頃の手洗い、消毒、更衣の徹底に努めた。
 - ウ 今年度は、10名のターミナルケアと「偲びのカンファレンス」を実施した。コロナ渦の中でも家族に寄り添い、悔いが残らないよう細心の注意を払い面会や宿泊を受け入れ、家族から感謝も受けた。
 - エ 経管栄養、痰吸引など看護と介護が連携して行うための研修を実施した。
- (4) 介護事故予防の推進
- ア 毎月、緊急時対応訓練及び危険予知研修を実施するとともにリスクマネジメント委員会を開催し事故やヒヤリハット事例の分析や検討を行った。
 - イ ヒヤリハット事例の再発や介護事故に繋がるケースもあり、事故の検証や会議を通じ一人ひとりが事故を予見する力を養うよう努めた。
- (5) 経営改善・基盤の確立
- 120人定員の新施設への移行に向け経営効率化を図りながら段階的に利用制限を実施した。これにより入所は、計画(予算)上の稼働率74%を上回る84%を達成したが短期入所は10%と低調であった。
新施設開設時の介護職員等の確保に向け求人広告を行うなど職員の確保に努めた。
- (6) メンタルヘルス対策の推進
- 産業医(心療内科)と連携し職員のメンタルヘルスの対策を行った。また、9月に実施するメンタルヘルスアンケートの結果をもとに本人の希望により産業医との面談を行った。
- (7) 地域における公益的な取り組みの推進
- ア 地域サロンへの職員の派遣など公益的な取り組みを計画していたが新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。
 - イ 地域福祉の向上を目指して地区住民を対象とした新施設の内覧会を実施しPRを行うとともに、移転先の湯梨浜町社協と連携しボランティアの開拓に努めた。
- (8) 新型コロナウイルス感染防止の取り組み
- ア 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、家族や利用者の心情に配慮し県の感染警戒情報をもとに対面での面会やタブレットし面会など柔軟な対応を行った。
 - イ 新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成するとともに新型コロナウイルス感染対策研修を実施した。

また、感染の未然防止と陽性者や濃厚接触者が発生した場合のゾーニングのシミュレーション等を行った。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
鳥取短期大学	8～9月	2人	20人
鳥取県立総合看護専門学校	10月	11人	22人
鳥取社会福祉専門学校	9～10月	1人	21人
計		24人	63人

(2) ボランティアの受入実績

山名寺仏教婦人部、ワーカーズコープ、桔梗の会、個人2名（延べ70名）

5 付帯事業

(1) 短期入所事業 定員 併設10名

年度	実人員	延人員
令和2年度	2人	366人
令和元年度	12人	687人